

第 22 回優秀会社史賞 入賞作品 受賞のことは

『日本精工 100 年史』

数多くの社史の中から弊社「日本精工 100 年史」が(一財)日本経営史研究所の第 22 回優秀会社史賞に選ばれたことは、誠に光栄に存じます。

弊社は、1916 年に日本で最初の軸受(ベアリング)を生産して以来、100 年以上にわたり軸受や自動車部品、精機製品などの革新的な製品・技術を生み出し、産業の発展を支えてきました。1960 年代初頭からは海外に進出し、現在では 30 ヶ国に拠点を設け、軸受、電動パワーステアリング、ボールねじなどで世界をリードしています。

弊社は、企業理念として、MOTION & CONTROL™ を通じて円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めることを掲げています。また、2026 年に向けて NSK ビジョン 2026「あたらしい動きをつくる。」を策定し、世の中の期待に応える価値をステークホルダーと協創し、社会への貢献と企業の発展の両立を目指しています。

2016 年に創立 100 周年を迎えるに際し、100 周年を 1 つの区切りとして会社の歴史を整理・体系化してまとめようと検討を始めたのが、2013 年 3 月でした。社史編纂は 1977 年刊行の「日本精工六十年史」以来 40 年ぶりで、資料収集や事実確認においては、様々な困難に直面しました。数十年前の資料の搜索や原稿確認など国内外のあらゆる関係部門、お客様をはじめとする多方面の方々のご協力を得て、4 年余りの編纂により 2018 年に刊行することができました。これもひとえに皆様の多大なご協力のお陰によるものです。改めて関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

本史を制作する上では、変化する弊社の姿をありのままに記録することを目指し取り組んできました。本史が多くの方々に読まれ、弊社が歩んできた道とそれを支えてきた社員の姿や気持ちが少しでも伝われば幸甚です。

日本精工株式会社

